

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 松下 智人
 問合せ先責任者 （役職名） 取締役専務執行役員 （氏名） 村上 和繁 TEL 06-6949-0323
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,518	130.4	△751	—	△637	—	△295	—
2026年3月期第1四半期	2,828	△66.6	△2,209	—	△2,086	—	△1,246	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △162百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △2,354百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△14.10	—
2026年3月期第1四半期	△59.61	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	46,385	42,250	91.1
2026年3月期	47,692	42,935	90.0

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 42,250百万円 2026年3月期 42,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	25.00	—	30.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2027年3月期期末配当金（予想）の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	39,500	67.8	3,000	—	3,000	—	2,100	100.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）当社は、年次で業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	22,895,500株	2026年3月期	22,895,500株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,970,947株	2026年3月期	1,970,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	20,924,553株	2026年3月期1Q	20,907,009株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、2026年8月6日（木）にTDnetおよび当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中東情勢の影響や金融資本市場の変動など、先行きについては引き続き注視が必要な状況にあるものの、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、企業収益および雇用情勢についても改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

遊技機業界におきましては、スマートパチスロを中心に市場が堅調に推移しており、パチスロ遊技機が引き続き市場を牽引する状況となりました。パチンコ遊技機につきましても、「ラッキートリガー3.0プラス」搭載機種を中心に多様なゲーム性を備えた新機種が投入され、人気アニメコンテンツを活用した機種などが市場の注目を集めるなど、市場活性化に向けた動きが継続して進められております。

また、業界団体やメーカー、ホール企業が連携し、若年層や未経験者との接点創出を目的とした「押しパチの日・押しスロの日」の実施や無料遊技体験企画、大型イベントへの出展など、遊技の魅力を発信する施策が積極的に展開されました。これらの活動を通じて、新たなファン層の開拓や遊技人口の拡大に向けた裾野の拡充が図られております。

さらに、業界全体ではギャンブル依存症対策や広告宣伝ガイドラインの遵守に加え、地域社会との連携や社会貢献活動、環境保全活動などが継続的に推進され、遊技産業の社会的価値向上に向けた取り組みが進展しております。

当社グループといたしましては、「ファンファースト」の価値観のもと、ファンの皆様の声に真摯に耳を傾け、パチンコ遊技機およびパチスロ遊技機の両市場において、お客様に支持される“ヒット味違う”商品開発を推進してまいりました。また、人気アニメコンテンツの活用や商品ラインナップの充実を図るとともに、ファンとの接点拡大に向けた各種プロモーション活動にも積極的に取り組んでまいりました。加えて、アニメ関連事業を担う子会社を設立するなど、コンテンツビジネス領域の強化にも取り組み、中長期的な企業価値向上に向けた事業基盤の強化を進めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新規タイトルとしてパチンコ遊技機で新たに2機種を市場投入いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高65億18百万円（対前年同期比130.4%増）、営業損失7億51百万円（前年同期は営業損失22億9百万円）、経常損失6億37百万円（前年同期は経常損失20億86百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億95百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12億46百万円）となりました。

製品別の状況は次のとおりであります。

(パチンコ遊技機)

パチンコ遊技機につきましては、新規タイトルとして「eリング 最恐領域」（2026年4月導入）、「eひきこまり吸血姫の悶々」（2026年5月導入）を市場投入したほか、前連結会計年度に発売した機種などを継続販売いたしました。

以上の結果、販売台数は13千台（対前年同期比84.1%増）、売上高は65億18百万円（同130.5%増）となりました。

(パチスロ遊技機)

パチスロ遊技機につきましては、当第1四半期連結累計期間での新機種の発売はありませんでした。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は256億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億45百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が17億55百万円、商品及び製品が2億53百万円、原材料及び貯蔵品が1億75百万円減少したことによるものであります。固定資産は207億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億38百万円増加いたしました。これは主に、長期前払費用が6億74百万円、投資有価証券が2億62百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は463億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億6百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が57百万円増加したことに対し、買掛金が1億15百万円減少したことによるものであります。固定負債は13億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億76百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債が3億13百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は41億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億21百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は422億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億85百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失2億95百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億81百万円および剰余金の配当5億23百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は91.1%（前連結会計年度末は90.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,815	14,059
受取手形、売掛金及び契約資産	2,322	2,677
有価証券	399	399
商品及び製品	375	121
原材料及び貯蔵品	7,097	6,921
前渡金	469	855
未収還付法人税等	350	362
その他	989	277
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	27,814	25,669
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,578	2,559
土地	3,142	3,142
その他(純額)	1,461	1,417
有形固定資産合計	7,182	7,119
無形固定資産	679	642
投資その他の資産		
投資有価証券	8,809	9,071
長期前払費用	2,277	2,951
退職給付に係る資産	163	165
その他	1,373	1,370
貸倒引当金	△608	△607
投資その他の資産合計	12,015	12,953
固定資産合計	19,877	20,715
資産合計	47,692	46,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,211	1,096
未払法人税等	5	63
賞与引当金	341	261
その他	1,558	1,350
流動負債合計	3,116	2,771
固定負債		
繰延税金負債	314	0
退職給付に係る負債	377	384
その他	947	978
固定負債合計	1,639	1,363
負債合計	4,756	4,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	34,353	33,535
自己株式	△2,637	△2,637
株主資本合計	38,225	37,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,612	4,793
退職給付に係る調整累計額	97	49
その他の包括利益累計額合計	4,710	4,843
純資産合計	42,935	42,250
負債純資産合計	47,692	46,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,828	6,518
売上原価	1,542	3,347
売上総利益	1,286	3,170
販売費及び一般管理費	3,496	3,921
営業損失(△)	△2,209	△751
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	85	75
利用分当金	20	18
その他	16	17
営業外収益合計	125	116
営業外費用		
賃貸収入原価	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	2	2
経常損失(△)	△2,086	△637
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	2	5
特別損失合計	2	6
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,088	△642
法人税、住民税及び事業税	8	71
法人税等調整額	△850	△418
法人税等合計	△842	△347
四半期純損失(△)	△1,246	△295
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,246	△295

(四半期連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,246	△295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,030	181
退職給付に係る調整額	△78	△48
その他の包括利益合計	△1,108	132
四半期包括利益	△2,354	△162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,354	△162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	597百万円	386百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

当社グループは、遊技機事業の単一セグメントにより構成されており、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

当社グループは、遊技機事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。